

# 北海道胆振東部地震の検証における課題について

## 課 題

★：当初予定していた見直し項目に入っていない  
新規検討項目

### 避難場所の開設★

- ・ 職員及び地域住民において、暗証番号キーボックスを十分に活用することができないケースがあった。

### 避難場所の統合・閉鎖の考え方★

- ・ 統合（縮小）、閉鎖に係る、基本的なルールがなかったため、その場の状況に応じた判断となってしまった。
- ・ 早期に避難場所を閉鎖した区の住民が避難場所を求めて、他区の避難場所に避難する事例があった。

### 備蓄物資の見直し

- ・ 避難所として機能するために必要な物資が備蓄されていなかったり不足したりしていた。  
(運営職員からの主な意見)
  - ・ 備蓄食糧のバリエーションを増やしたほうが良い。
  - ・ 石けん、消毒液、ペーパータオル等の感染症・食中毒予防物資が無かった。
  - ・ おむつは最もニーズの多いMサイズが必要。
  - ・ 粉ミルクを区役所に配置しているが、各避難所にも必要だ。また、ミルクのお湯を沸かすためのカセットコンロとボンベが必要。
  - ・ 乳幼児（9ヶ月）を連れて避難したが、離乳食の提供がなく調達に苦慮した。
  - ・ 停電対策用として、非常用発電機、LEDランタン、懐中電灯が不足していた。
  - ・ 冬のブラックアウトを想定しストーブを増やしたほうが良い。
  - ・ 紙コップの備蓄が必要。 など

# 課題 つづき

## 避難者への対応

### 外国人避難者

- ・外国人避難者とのコミュニケーションが取れず、対応に苦慮した。
- ・国際プラザが作成した「多言語シート」が十分に活用されなかった。

### 子ども

- ・子どもの声や足音に不満を抱く避難者がいて別室に案内したが、特別扱いではないかとのクレームもあった。

### 女性

- ・避難所へは比較的出入りが自由だったため、治安に問題があった。

### ペット同行避難者

- ・ペットを連れて避難してきた人がいたため、ペットの置き場に困った。また、複数の犬を同じ場所に固めると、犬が興奮してしまい、騒音が増して困った。

### 情報提供★

- ・情報を求めてくる市民が多かったが、職員にも被害の状況等が入ってこなかったため、避難所運営にあたっている職員にも情報が入るようにする必要がある。